

「不しん者」

今日、学校で授業中に

「学校に不しん者がしん入しました。みなさん、教室に入ってしずかにしててください。」

という放送がながれた。先生は、戸にかぎをかけた。でも、先生はわすれんぼうなので、トイレにいつているこだま君を入れわすれてしまった。しかも、人数をたしかめるのもわすれている。「こだま君があぶない！」と私の心の中でずっとひびいている。でもなぜだか、声に出ない。

こだま君が、トイレからかえって来た。でも、戸はあかないから、ガチャガチャ音をならしている。先生は、

「不しん者だ。」

とかんちがいして言った。こだま君は背が低いのに、戸についているまどはたかいから、だま君がみえなかったのだ。みんなは、

「ワー！」

「キャー！」

「不しん者だー！」

と口々にさげんだ。先生もあわてている。

その時、私はやっと声が出るようになった。

「先生、こだま君をわすれています！」

と、大声で言った。みんなは、しーんとだまった。先生もだ。先生は、そっと戸についているまどの外を見た。そうしたら、

「こだま君だ！こだま君をわすれてた！」

と言って、戸のかぎを開けた。

こだまくんが思いつ切り戸を開けて先生にどなった。先生は、みんなからわらわられて、
はずかしくなって、顔を真っ赤にさせていた。

でも、まだ不しん者はみつからない……。

※無断転載禁止